

液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

価格改定

10月上旬に液化機1号機の修理が完了し、現在は通常通りの液化運転と供給を行っています。また運転経費についても、まだいくつかのメンテナンスが残っていますが、ほぼ例年通りであると考えています。

これらの理由から、11月請求分より液体ヘリウムの供給価格を液化機故障前の価格に戻すことを低温委員会で決定しましたのでお知らせします。価格については、右表を参照してください。

ただ、回収率が依然として80%程度で推移していること、毎年ヘリウムの価格が上昇していることなどから考えると、来年度は供給価格を上げる必要があるかもしれません。回収率が良くなれば、ヘリウムの価格上昇分を担保することは可能と考えられますので、皆様のより一層の回収率向上へのご協力をお願いします。

平成19年度供給価格

	所内	所外
液体ヘリウム	265円/L	315円/L
液体窒素	45円/L	60円/L
ヘリウムポンベ (47L, 99.99%)	10,580円/本	

※11月分からの供給価格

回収純度と今後の予定

最近、回収ガスの純度が長時間に渡って著しく低下し、内部精製ができなくなる時がしばしばあり、液化機の運転に支障を来しています。ようやく修理が完了したばかりで回収純度の低下による液化機の故障は、我々にも大きな負担になりますし、ユーザーにとっても大きな負担になります。回収率の向上と共に回収純度にも十分気を付けて実験を行ってください。

物性研の回収系は正圧回収を行っているのですが、通常の場合、純度が低下することは無いと思いますが、減圧して実験をしている場合には十分な注意が必要となります！

減圧して実験をしている装置は、再度装置の漏れ等がないか確認をお願いします。

下記は今後の予定です。1月下旬に液化用圧縮機のメンテナンスによる供給停止を予定していますので、ご協力をお願いします。

- ①液化用圧縮機のメンテナンス(オイルセパレータの交換)
2008年1月23日(水)から1月31日(木) 供給停止予定
 - ②研究室立ち入り調査 日時未定(12月頃からの予定)
装置見学、回収率向上のための回収系の確認、設置流量計調査、ポンベ使用状況調査など
 - ③年末：12月28日(金)まで通常業務
 - ④年始：1月4日(金)から通常業務
- }(供給申込多数の場合には、供給制限有り)